

JPN タクシーの廃材を活用 構想 3 年の『本気の遊び』 新・ロボットのタクシー遂に起動！

<https://www.sanwakoutsu.co.jp/special/>

タクシー・ハイヤーサービスを行う三和交通株式会社(本社：横浜市港北区、代表取締役社長：吉川永一) は 2026 年 2 月 4 日(水)より「新・ロボットのタクシー」を三和交通株式会社本社営業所(横浜市港北区)にて展示いたします。



新・ロボットのタクシーの概要

本企画は、「真面目にふざける」をテーマとしたエンターテインメント企画であり、タクシー会社ならではの視点で“乗り物×ロボット”の可能性を表現する取り組みです。

■ 役目を終えたロボットのタクシーをリポート

ロボットのタクシーは、2017 年のエイプリルフール企画として制作・公開され、クラウンセダンの廃材を使用したユニークな外観とコンセプトにより、SNS での自然発生的な拡散一般ユーザーによる投稿の広がり、テレビ番組での紹介など、多くの反響をいただきました。

完成したロボットは、まず三和交通株式会社 本社営業所に設置し、その後三和交通多摩株式会社 本社営業所へ移設しました。

各営業所での展示期間中には、ご来所されたお客様や地域の方々から「思わず足を止めてしまっ

た」「面白い事をやっているね」「子どもが喜んでいた」など、多くの好意的な声が寄せられました。

単なる展示物にとどまらず、営業所を訪れるきっかけや、タクシーという存在を身近に感じていただくコミュニケーションツールとしても、一定の役割を果たしたと受け止めています。

一方で、展示・保管・移動を重ねる中で、構造材の劣化や安全面での課題が顕在化し、ロボットのタクシーはその役目を終える判断に至りました。

■ 新・ロボットのタクシーは「告知から約2年」を経て完成

新・ロボットのタクシーは、2024年4月のエイプリルフール企画に向けて制作構想を開始しました。

制作過程では、完成度および安全面の観点から再検討を重ね、初期段階で組み上げていた構造を一度解体し、設計そのものを見直す判断を行いました。

その上で、「新・ロボットのタクシー」制作を正式に告知するエイプリルフール企画として発表。

以降は、頭部については初代ロボットの素材・意匠を受け継ぎつつ改良を加え、その他の部位については、構造・素材選定・世界観設計を再構築し、約2年の制作期間を経て現在の形に至りました。

今回のロボットは、JPN タクシーの廃材をメイン素材として使用。

実際にタクシーとして街を走っていた車両のパーツを再構築し、役目を終えた車両に新たな価値と物語を与える形で、新たな“ロボット”として生まれ変わらせました。

■ コンセプトは「人類防衛型ロボット」

本ロボットは、特設LP上で「人類防衛型ロボット」というコンセプトで展開しています。

なぜタクシー会社がロボットを作るのか何から人類を守るのかそもそも守れるのか、その答えは、ぜひLPでご確認ください。

なお、本企画は実用性や製品化を目的としたものではなく、あくまでエンターテインメント企画です。

タクシー会社としての“遊び心”と“ものづくりへの本気”を掛け合わせた取り組みとなっています。

■ 「廃材×遊び×タクシー」という挑戦

三和交通では、これまでもタクシーを使ったユニークな企画、交通業界の枠にとらわれない発信、「安全・信頼」を土台にした挑戦を継続して行っていました。

本企画もその一環として、「廃材を、ただ捨てずに“話題”へ変える」という新しい価値創出の形を提示しています。

■ 今後の展開

本ロボットは、今後営業所での展示、SNS・動画での発信、メディア取材対応などを予定しております。

<リリースに関するお問い合わせ先> 株式会社三和交通統轄本部 広報担当：小澤・水品

TEL：045-650-3270 FAX：045-650-3271 E-mail：sanwa_pr@sanwakoutsu.co.jp